

2018年度学生アルバイト（Liss）業務報告書

情報メディアセンター

情報メディアセンターでは、2018年度においても図書館学生アルバイトスタッフ（Liss: Library student staff）を雇用し、業務や活動を行った。下記の通り、Lissの業務について報告する。

1. 在籍Liss一覧

- 4年…4名（経営経済学部1名、ビジネス創造学部3名）
 - 3年…4名（経営経済学部1名、ビジネス創造学部3名）
 - 2年…6名（経営経済学部5名、ビジネス創造学部1名）
 - 1年…5名（経営経済学部5名、ビジネス創造学部0名）
- 計 19名

2. 基本的な業務内容

- カウンター業務
 - 資料の貸出及び返却処理、利用者からの質問への対応（クイックレファレンス）
- 書架関連業務
 - 資料の返本・配架、雑誌や新聞の移動・廃棄、蔵書点検、書架整理
- データ整備
 - レファレンス記録のデータ入力、ブログ閲覧数記録業務
- 企画・広報
 - 図書の特集コーナーの設置、教職員インタビュー、SNSを利用した業務報告と宣伝
- その他
 - 図書の装備（ブックフィルムかけ）、業務シフトの作成、業務マニュアルの更新、月1回のミーティング（Liss会）

3. 2018年度スケジュール

4月	新入生クラブ紹介への参加、Liss業務説明会
5月	Liss新人研修開始、LiPS (Library Point Service) 実施
6月	IMC合同新人歓迎会
7月	
8月	
9月	IMC合同合宿、選書ツアー、センター長との面談実施、Liss会内ワークショップ
10月	Liss業務説明会、第20回図書館総合展への参加
11月	飛翔祭への参加（古本市）、Liss新人研修開始
12月	IMC合同新人歓迎会、IMC大掃除
1月	蔵書点検開始
2月	IMC合同送別会、HRC全体会・確定申告講座への参加、センター長との面談実施
3月	ノートテイク講習会への参加、POP講習会

4. 2018 年度特別活動

- LiPS : Library Point Service (2018 年 5 月 1 日～7 月 10 日)

今よりも本学の学生に図書館を利用してほしいと考え企画した。学部生のみを対象とし、本を 1 冊貸出するごとに 1 ポイントを付与、5 ポイント貯まると次回の貸出期間を通常の 2 週間から 1 ヶ月に延長するというサービスである。2018 年度は、2017 年度に実施した際の反省を生かし、スタンプカードの右下にナンバー（通番）を表記した。また、延長回数を Google スプレッドシートに記録した。結果として、配布枚数は 118 枚、延長回数は 16 回となった。2017 年 11 月～12 月に実施した前回より約 2 倍の期間で実施していたが、スタンプシートの配布数及び延長回数は 2 倍以上となった。

改善点として、スタンプカードの余りをなくすために、次回からは実施終了日の 1 週間前からスタンプカードの印刷をやめ、無くなり次第配布終了とする事を考えている。

- 第 20 回図書館総合展への参加 (2018 年 10 月 31 日)

パシフィコ横浜にて開催された第 20 回図書館総合展に Liss から 3 名が参加した。

「第 3 回全国学生協働サミット」に登壇し、Liss の活動内容について 5 分間発表した。サミット内では「イマキク」というアプリを用いて、参加者同士で質問・感想を共有した。発表終了後は他大学の参加者と名刺交換を行った。後日、Liss ブログや Twitter などの SNS を通じて、当日の参加レポートと、「イマキク」にて寄せられた質問・感想へのレスポンスを投稿した。

「第 4 回図書館キャラクター・グランプリ」では、本学図書館キャラクター「りすけ」をエントリーした。

- 飛翔祭への参加 (2018 年 11 月 3 日、4 日)

飛翔祭で古本市を開催した。学生や教職員、学外の方から不要な本を回収し、1 冊 100 円で販売した。1 日目の時点で、去年の売上を上回ることができ、2 日間で売上は 5,000 円 (50 冊) であった。

2018 年度の活動目標である「広報に力を入れて、サービスの定着を図る」に合わせて、飛翔祭の 1 週間前から 1 日 1 回 Facebook で宣伝をした。当日は、図書館総合展で発表した際のスライドを流し、足を運んでくれた方に Liss の活動を紹介した。

例年、シフトを組んで活動しているが、2018 年度は時間外にも古本市会場の装飾を製作するメンバーもおり、協力的かつ積極的な姿勢も見られた。なお、売上は、季節物の館内用装飾の購入に充てる。

- POP 講習会 (2019 年 3 月 8 日)

日頃から利用者の目を引くような掲示物や POP を作成したいと考えてはいるが、Liss 全員が PowerPoint を上手く活用出来ているとはいえず、配色やデザインが今一つであると感じていた。そこで、その問題を見直すべく、POP 講習会を行った。POP 講習会では、課題図書に対して、Liss がそれぞれ POP を作り、その POP に対し、どういったところが良いのか、悪いのか、どこを変えればより良い仕上がりになったか、などを話し合った。

講習会後も、当館に所蔵している配色やデザインに関する本を参考にしながら、掲示物や POP を作成している。

5. 活動目標の達成度

2018年度の目標は「広報に力を入れて、サービスの定着を図る」となっていた。そこで、2018年度は2017年度と比べて、どのくらい広報を行っていたかを調べるため、SNSの更新数に関するグラフを作成して比較した。

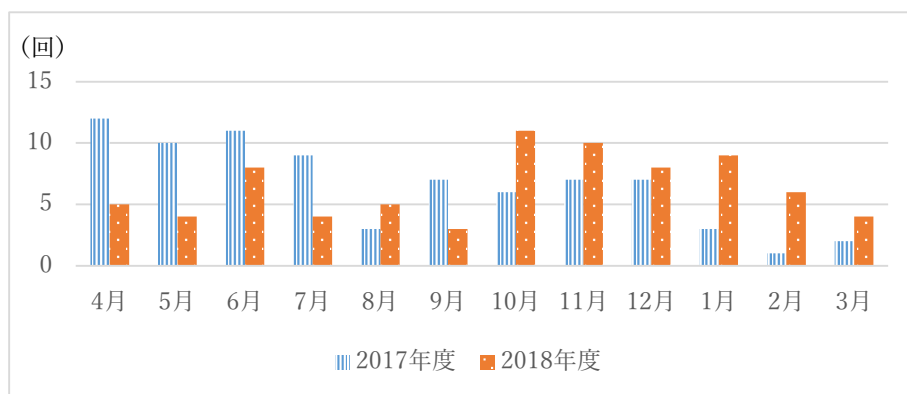


図1 ブログ更新数

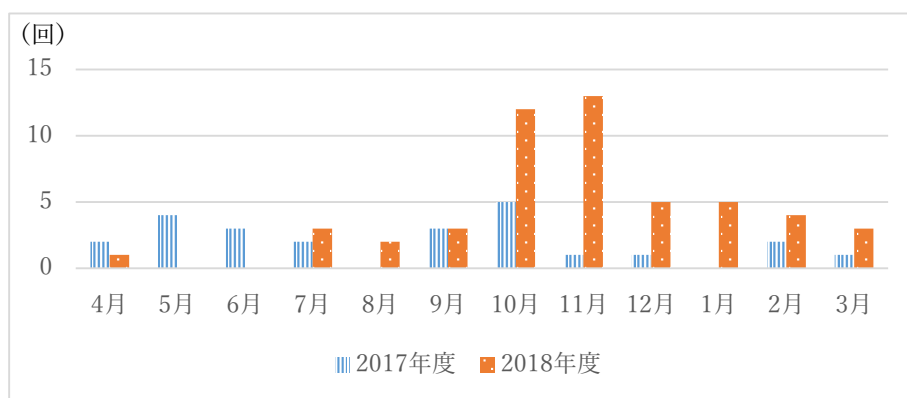


図2 Facebook更新数

図1、図2によると、春学期の更新数は2017年度を下回っていることが多かった。9月に行ったLiss会でのグループワークでは、他大学図書館のTwitterの中で、気になったツイートをそれぞれプレゼンした。LissのTwitterではどのような内容をツイートすればよいか話し合い、企画やイベント時だけでなく、日常の風景（Lissの普段の活動の様子）や図書館サービスについても、気軽にツイートしていくという結論に至った。その後は、ブログやFacebookの更新も各々が意識するよう心掛け、秋学期は、選書ツアーや飛翔祭といったイベントが続いたこともあり、更新数を増やしていくことができた。

図書館総合展や飛翔祭などのイベントに関する記事は、他の記事よりも多くの人に閲覧されていた。

6. 2018年度の反省と来年度への展望

2018年度は「広報に力を入れて、サービスの定着を図る」という目標を掲げた。なぜなら、2017年度に実施したイベントの時に、その風景をTwitterやFacebookに投稿しておらず、広報活動が疎かになっていたためである。

しかし、2018年度が始まってから、例年よりも多く入職した新人7名の教育に注力したことで、目標のことを忘れて活動していたことに気づき、9月のLiss会ではTwitterの更新頻度をあげるた

めのグループワークを行った。9月以降は、ブログやFacebookの更新も心がけ、秋学期からは更新数を増やすことができた。「サービスの定着を図る」ことも目標のひとつだったが、そもそもLiss自身が、イベントや企画以外の図書館のサービスについて、あまり理解をしていなかったともいえる。

そのため、2019年度の活動目標も、2018年度と同様に「広報に力を入れて、サービスの定着を図る」とした。2018年度の反省を踏まえて、図書館のサービスについて今一度学びなおし、もっと利用者の目に留まるような記事を書くことで、利用者に図書館のサービスを知ってもらえるよう、Liss全員で力を合わせて活動していきたい。